

Vol.56 / 夏季号

平成28(2016)年7月1日発行
(年3回7・11・2月発行)



日農工会報












- 🌸 基準認証政策について
- 🌸 第55回従業員功勞表彰受賞者一覧
- 🌸 松山(株)スキー部
- 🌸 アグリエボリューション・サミット
- 🌸 新社長の紹介



表紙撮影 山井麻子さん

CONTENTS

	基準認証政策について		
	経済産業省産業技術環境局国際標準課 佐野 浩一	1
	平成28年度 第55回従業員功労表彰受賞者一覧	5
	日農工だより ~ 第53回定時総会	12
	松山スキー部 松山株式会社 スキー部 川上 裕雅	13
	健康相談	14
	ニュース☆探検隊 ~ 農業に人材を呼び込め!	15
	アグリエボリューション・第5回サミット報告	17
	フォトギャラリー	20
	新社長の紹介		
	片倉機器工業(株) 社長 石垣 貴広	23
	(株)スズテック 社長 鈴木 直人	23
	八鹿鉄工(株) 社長 寺田 謙二	24
	井関農機(株) 社長 木下 榮一郎	24

表紙 撮影地：宇土市長浜
タイトル：「くまモン応援団」

熊本の宇土市にある釣具店です。震災のまえ、阿蘇へ遊びに行ったときくまモンが可愛らしくて撮りました。そして、宇土長浜の夕日は最高にきれいでした。#ちからをひとつに!! 熊本のみなさん元気にな〜れ!!
岐阜県 山井麻子さん

基準認証政策について

経済産業省 産業技術環境局
国際標準課 佐野浩一

はじめに

日本工業標準調査会（JISC）は、1949年に、工業標準化法に基づいて工業標準化に関する調査・審議を行うことを任務とする、経済産業省に設置された審議会であり、日本工業規格（JIS）の制定・改正に係る審議や ISO / IEC などの国際標準化機関への日本代表としての参加などの国際標準化活動を行うなど、数多くの関係者との協力関係のもとで、日本の標準化活動の中核を担ってきました。

この度、貴工業会の機関誌の誌面をお借りして最近の基準認証政策についてご紹介するとともに貴工業会における国際標準化活動がより活発になることを期待いたします。

（参考資料）

- ・日本工業標準調査会の概要
- ・ISO規格の制定手順

基準認証分野における課題

現在、基準認証分野における国際展開に関する課題は大きく分けて3つあります。

①戦略的対応

1つめは、国際標準への戦略的対応です。国際規格を策定する ISO や IEC では、規格の承認手続として投票制度を採用しており、1か国1票となっています。これは確かに公平な制度ではありますが、実態としては、30か国以上が属する地域として共通の制度や基準規格をもつ欧州にとって大変有利な制度となっています。

そして WTO/TBT 協定により、WTO 加盟国は国際規格が存在する場合には、基本的にはその国際規格を基礎として用いることとなっているため、国際市場におけるビジネスでは、国際規格が日本にとって少なくとも不利な内容となっていないことが不可欠となります。

このため、欧米諸国との協力はもとより、アジア諸国とも協力することは、日本の国際標準化活動にとって重要な意味があります。

国際標準への戦略的対応の重要性を示す過去の事例を挙げますと、90年代に遡りますが、当時、電気洗濯機は日本だけでなく、アジアでも二層式のものも普及していました。二層式洗濯機の脱水槽は日本では二重ぶたにすることによって手の挟み込みを防止する安全設計が行われていたのですがこのような仕様は欧州では例がなく、日本からの提案は IEC で否決されてしまいました。そして、その結果、IEC 規格を採用した東南アジア諸国から日系企業の二層式電気洗濯機が事実上閉め出されてしまったのです。

国際規格と併せて、適合性評価及び認証の重要性を忘れることはできません。国際市場におけるビジネスでは、日本国内における実績だけでは国外市場の信用や評価を得ることはできず、国際規格に適合していることを証明することが求められることがあります。日本国内の適合性評価機関でその国際規格への適合性評価ができない場合、当然のことながら海外の適合性評価機関に評価を依頼することになります。しかし、その場合には、製品を海外の試験施設に搬入する必要がある、認証取得に時間がかかり市場展開計画への影響の懸念がある、技術情報の流出の懸念がある、という問題があることを考慮する必要があります。

特に、日本が強みをもつような先端技術分野や国を挙げて取り組んでいる戦略的分野については、日本国内に認証拠点を整備することが重要であると考えられます。

②融合領域に対する標準化

2つめの課題は、国内企業における標準化戦略の重要性に対する認識です。残念ながら国内では、JIS をはじめとする標準は必要最小限を決めた業

界共通のものである、との認識から、標準化活動は公益的な活動として業界団体が行うべき、という考えが根強くあります。このことにより、複数の業界に關係する融合的技術に關連する標準化への対応が困難となってしまうのが現状です。

しかし近年、国際標準化の対象は、個々の技術・製品の品質・安全性に關する標準化だけではなく、社会インフラやビジネスモデル等、市場構造そのもののシステム全般に關する標準化が重要視される傾向が見られます。例えば、2012年には Smart community infrastructures (ISO/TC268/SC1) Railway applications (ISO/TC269) 等が、2014年には Active Assisted Living (IEC/SyC)、Industry 4.0 - Smart Manufacturing (IEC/SMB/SG8) 等の新しい委員会が設立され、これらの分野における主導権を巡り、主要国の国際標準化活動が活発化しています。社会システムに關連する技術は1つの業界内で収まることはなく、複数の業界に大きな影響を与えることになることから、この動きには複数の業界が協力して対応していく必要があります。併せて、これらの分野における技術開発に際しては、将来の市場展開も視野に入れ、事業・研究開発・知財戦略とともに、協調領域と競争領域を見極めた上での標準化戦略も必要となります。

③先端技術の標準化

3つめの課題は、先端技術の迅速な標準化です。業界共通の技術の標準化を議論する場合は業界団体が中心となって行うことは先にも述べましたが、1社、特に中堅・中小企業により開発された先端技術の標準化活動は、業界全体のコンセンサスを必要とする業界団体にとっては対応が困難となっています。しかし、ブランド力が比較的に弱いとされる中堅・中小企業にとって、自社の技術を公正に評価することができる試験・評価方法は、国内市場、国際市場への展開のために必要なものであり、これらの評価方法が JIS 又は国際規格として存在する意義は大きいと思われる。

基準認証に關する最近の主要施策

これらの課題のために経済産業省が行っている施策をいくつか紹介致します。

まず、日本の基準認証施策の柱の1つとなっているのが官民連携による支援体制の強化です。

官民連携による標準化戦略の強化を目的とし

て、経済産業省と主要業界トップが参画する「標準化官民戦略会議」を開催し、2014年5月に「標準化官民戦略」をとりまとめました。その主なポイントは次の3つで、先に述べた課題への対応が含まれています。

i) 官民の体制整備

ii) 世界に通用する認証基盤の強化

iii) アジア諸国等との連携強化

さらに、官民の体制整備の具体策として次の4つが挙げられています。

a) 新市場創造型の標準化制度の構築

b) 業界における標準化戦略の強化

c) 中小企業の標準化及び認証の活動に対する支援強化

d) 標準化人材の育成強化

この戦略の実施のため、本戦略会議の下に、官民各機関の代表者からなる幹事会を設置し、各機関の取組、今後の取組の方向性についての議論等を行ってきました。

①アジア諸国との連携強化

国際標準化活動を行う上で中国、韓国をはじめとするアジア諸国との連携強化は重要です。

過去の失敗を踏まえ、特に日本が強みを持つ先端技術については、その性能が国際市場において正当に評価される国際規格の策定を進めるため、日本は国際標準化活動において欧米のみならずアジア太平洋諸国との連携強化を図ってきました。現在、日本は中国、韓国、ベトナム、インド、インドネシア、フィリピン、タイ、シンガポール、マレーシアの9か国と基準認証分野における協力を行っています(図1参照)。近年の成果としては、アジア諸国との連携により、省エネエアコンの消費電力評価方法や省エネ冷蔵庫の消費電力評価方法の国際規格が発行され、日本の優れた製品を正当に評価することができるようになりました。

②認証基盤の強化

認証基盤の強化については、我が国において積極的に研究開発が行われ、かつ、我が国企業にとって戦略的に重要となる分野とされる9分野(大規模分散電源設備、鉄道システム、生活支援ロボット、制御システムセキュリティ、大型風力発電システム、再生医療、ファインバブル、LED電球・照明、高度部素材)について可能性調査(F/S)を実施し、我が国企業の海外展開の観点から戦略

的に重要な分野について、認証又は試験の結果が国際的に認められる認証基盤を順次国内に整備することとし、現在、生活支援ロボットや制御システムセキュリティ、及び大規模分散電源設備の認証基盤整備を行っています。

③新市場創造型標準化制度

先に挙げた「標準化官民戦略」に基づいて設立された制度が、先端技術の迅速な標準化への対応となる「新市場創造型標準化制度」です。

この制度は、複数の産業に関連する融合技術や中小企業を含む特定の企業が有する先端技術に関する標準化を支援するもので、これまで「トップスタンダード制度」として、国内審議団体を經由しない国際提案・国際標準化作業に対する支援を行ってきましたが、国内の標準化（JIS）についても支援を開始しました。これらの制度を活用して、これまでに6件の国際提案を行い、また、9件のJIS作成を行っています。

更に、優れた技術・製品等を有しながらその普及拡大に課題等を抱えている中小企業等に対する支援策として、地域において中堅・中小企業等の経営等を支援する各機関と強力に連携し、専門的知識を有する標準化アドバイザーが標準化の戦略的活用についてきめ細かく支援する「標準化活用支援パートナーシップ制度」を2015年11月に設立しました。この制度により、中小企業の優れた技術・製品の市場における信頼性向上や差別化の有力な手段の1つとしての標準化の戦略的活用促進が期待されます。

④人材育成

これまで我が国の基準認証戦略における課題とそれに対応するための経済産業省の施策について述べましたが、先に挙げた3つの他に、我が国の基準認証戦略における共通の課題への対応のための重要な施策として、「標準化官民戦略」にも挙げられている標準化に関わる人材の育成を忘れることはできません。

国際規格が我が国にとって不利にならないものとするためには、ISO、IECの国際規格を議論する場に積極的に参加する必要があります。そして、国際標準化活動に参加するためには、当事者としての関心を持つとともに、規格の技術的内容に関する議論に参加できる人材、つまり、国際標準化実務の遂行能力に加え、国際的な場において通用する交渉力及びマネジメント力を兼ね備えた人材

が必要となります。

この人材育成は日本にとって大きな課題であることから、経済産業省では関係機関と連携して、若手人材の育成、企業各層（管理職、営業職、初任者等）への人材育成プログラムの整備を行っています（図2参照）。

農業機械分野における国際標準化活動

ここまで、標準化全般について述べてきましたが、農業機械分野に目を向けてみますと、国際標準化活動は、これまでISO/TC23（農業用トラクタ及び機械）（幹事国、議長国：フランス）で携帯式林業機械、農業用電子設備等のいくつかのSCには日本から参加してきましたが、全体的にみると活発とは言いにくい状況です。

これは、農業機械分野では、電気通信分野などと異なりどちらかと言えば国内の対応に重点が置かれてきたためかと思えます。

しかし、成長著しいアジアへの進出は農業機械分野においても始まっており、アジア市場における国際競争の激化が予想される中、国際規格の重要性に対する認識が深まりつつあると思われま

す。国際標準化活動の場において、やはり数に勝る欧州の発言力は強く、国際規格に日本の意見を反映させるためには欧米諸国のみならず、アジア諸国との連携を強化していくことが重要となります。

一方、国内では、農林水産省が中心となりロボット技術やICT等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業である「スマート農業」の実現に向けて、平成25年11月に「スマート農業の実現に向けた研究会」を立ち上げ、スマート農業の将来像やロードマップ等の検討が行われています。

今後アジア市場への展開を進めるためにも、貴工業会がこの研究会の成果を踏まえ、積極的にISO/TC23に参加するとともに、アジア諸国との協力を行っていくことが求められています。

おわりに

標準は単なる規制への対応のための手段ではなく、ビジネスツールの1つです。そして、国内外の市場への影響を考慮し、短期的な戦略だけでなく、長期的な戦略を立てる必要があります。

経済産業省と致しましては、「新市場創造型標準化制度」、「標準化活用支援パートナーシップ制度」等、標準化、認証に関する様々な支援を行って行く所存です。

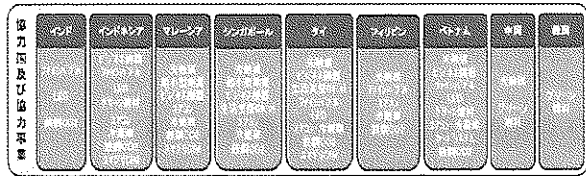


図1 アジア諸国との協力

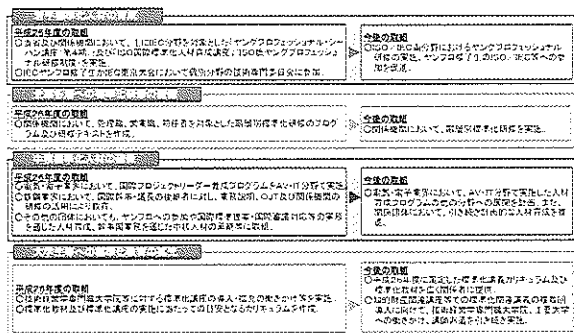
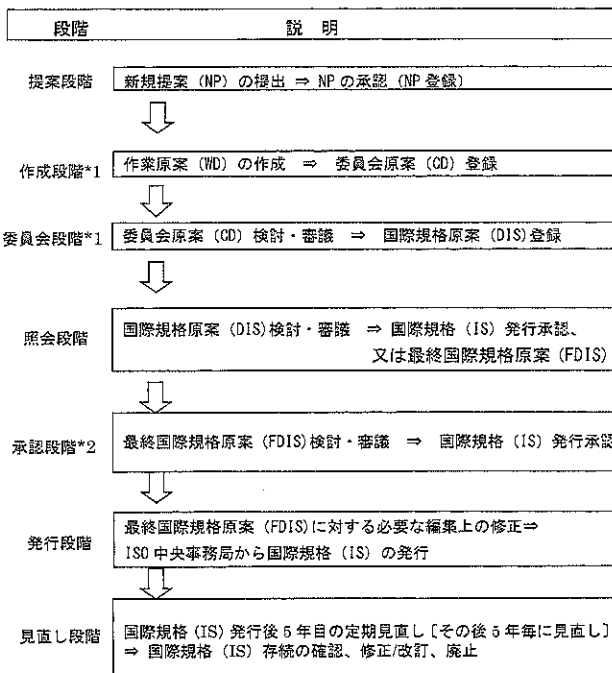


図2 標準化人材育成

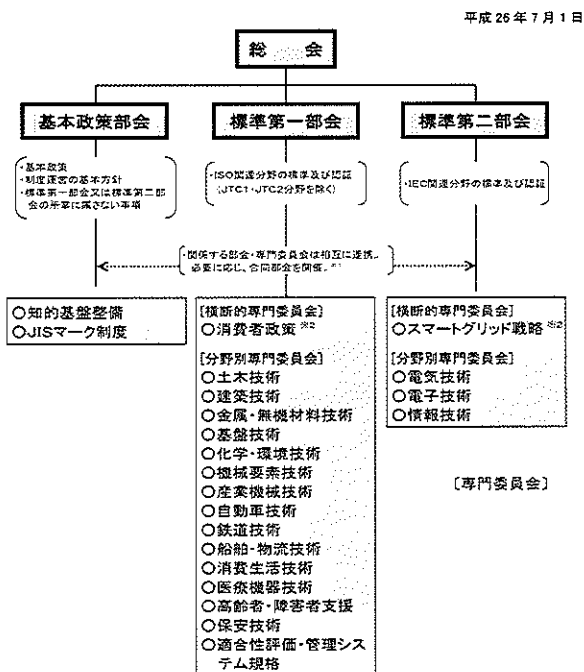


*1) これらの段階は省略できる場合もある。
*2) 承認段階の省略がデフォルトとなったが、承認段階を選択することも可能。

< IS 開発の目標期日 >

	規格開発期間		
	加速型 (2年)	標準型 (3年)	延長型 (4年)
NP 承認から DIS 登録まで	12 か月	24 か月	36 か月
NP 承認まで IS 発行まで	24 か月	36 か月	48 か月

(参考資料) ISO 企画の制定手順



※1 部会・専門委員会は、審議内容に応じて関係する部会・専門委員会と連携を図る。また、必要に応じて、関係各部会の委員等で構成する合同部会を開催する。
※2 消費者政策やスマートグリッド戦略などの横断的審議内容が他の専門委員会の審議内容に関わる場合には、他の専門委員会に提言等を行うことができる。

(参考資料) 日本工業標準調査会の概要

平成28年度

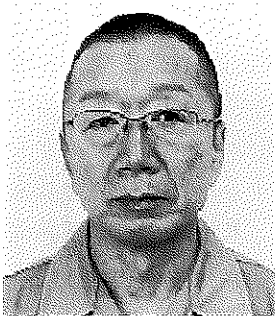
第55回従業員功労表彰受賞者

“合理化の促進、技術の改良開発、販売の促進等
企業発展に著しく寄与した者に贈られる”

表彰式：平成 28 年 5 月 30 日
於：八 芳 園（東京都港区白金台）

注：勤続年数は平成 28 年 5 月現在

[製造部門]

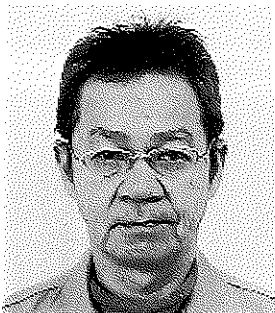


佐 藤 久

㈱IHIスター
物流部部长
(勤続年数 42.8年)

【功績の概要】

昭和48年入社、生産本部に配属後、長年、製造部門において機械加工の業務に従事し、技術力と生産力の向上に大いに寄与した。また平成23年より物流部副部長、平成26年より部長に就任し、製品、部品の出荷管理の見直しや効率向上に取り組み、成果を上げている。



矢 野 裕 之

㈱IHIスター
生産本部副本部長
兼務製造部長
(勤続年数 39.1年)

【功績の概要】

昭和52年入社、生産本部に配属後、機械加工の生産技術を主に担当し、技術向上や生産性向上に多大な貢献をした。また平成16年より生産管理部

門に移動し、平成18年に副部長、平成19年より部長を務め、生産の効率の向上に寄与した。現職は製造部長として生産性向上の推進に努めている。

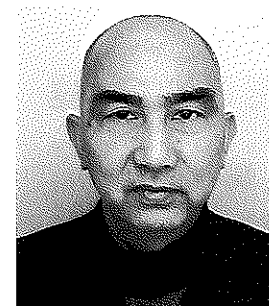


藤 内 喜 保

有光工業(株)
サービス部
サービス課係長
(勤続年数 27.0年)

【功績の概要】

平成元年入社、産機営業部サービス課を勤務した後、平成11年サービス事業部関東サービス課に所属、同課係長を経て、平成22年3月にサービス部サービス課係長となり、農業機械・工業用ポンプのスムーズな修理サービスに尽力した。また、部下の指導育成にも熱心に取り組み、仕事に対する熱意は同僚の模範となっている。

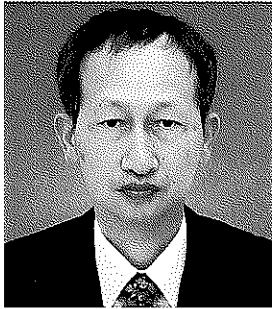


西 村 文 伸

㈱太 陽
製造部製品課
専任係長
(勤続年数 42.0年)

【功績の概要】

入社以来、42年の長きにわたり、アグリ機器の開発に従事した。特に、「野菜類袋詰め機」の試作・量産にあたっては中心的な役割を果たし、社業の発展に大きく貢献した。

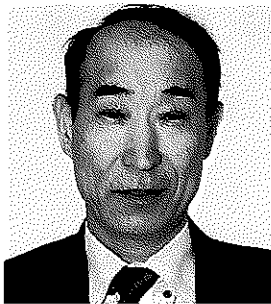


永原 光 浩

(株)タイワ精機
製造部職長
(勤続年数 26.1年)

【功績の概要】

入社後、組立部門、溶接部門を経て、現在はNCT部門の職長として活躍。同部門では、主にブレーキ・プレスを担当し、品質向上はもちろん、日々原価工数を意識し工数短縮に努めている。また多機能工的存在で、他部署が工数不足の場合は作業応援を行い、生産計画達成に貢献している。



佐藤 律 雄

(株)山本製作所
品質管理部
(勤続年数 41.1年)

【功績の概要】

昭和50年入社以来、製造部門・品質管理部門に所属し、生産関連業務に従事。長年の経験と知識を活かし、資材の受入検査、生産現場の改善、出荷検査等に携わり、安定した生産の仕組み作りに尽力した。製品の品質向上と生産性の向上に貢献した功績は多大である。

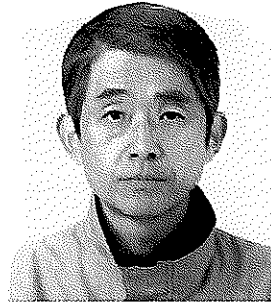


花 輪 一 雄

(株)山本製作所
製造部塗装グループ
(勤続年数 39.9年)

【功績の概要】

昭和50年入社以来、製造部門の塗装グループに所属し、一貫して塗装業務に従事。粉体塗装大型設備の導入立ち上げに携わり、粉体塗装システムの確立と塗装技術向上に尽力し、生産性の向上に多大な貢献をした。また、近年は、後進への技術指導を努め、社員の模範となっている。



竹 崎 省 夫

ヤンマー農機製造(株)
製造部高知工場
塗装グループ専任課長
(勤続年数 41.1年)

【功績の概要】

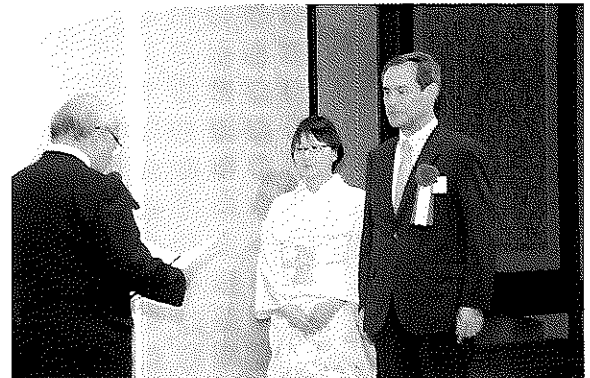
昭和50年、ヤンマー農機製造(株)の前身であるセイレイ工業(株)に入社後、長きにわたり高知工場の塗装業務に従事した。平成12年からは課長として、塗装品質の向上に尽力するとともに、塗装品質レベルアップを図るため、若手従業員の技術向上に努め多数の有資格者の育成を行った。

5回 従業員功労表彰

一般社団法人日本農業機械工業会



挨拶をする山岡会長



静岡製機(株) 杉本真規さん

[研究・開発部門]



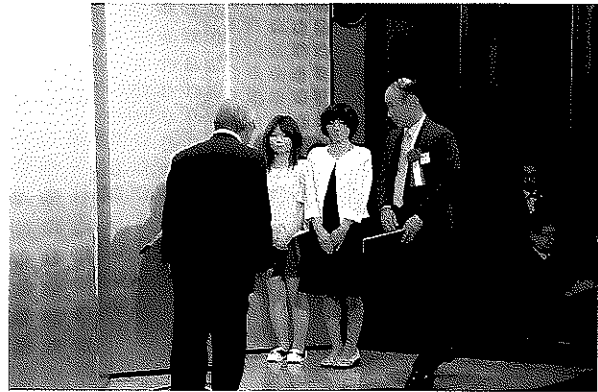
杉本 真規

静岡製機(株)
営業本部特機推進部
営業課主幹
(勤続年数 36.1年)

【功績の概要】

入社以来、米麦等の測定分析器の開発を担当し、米麦のタンパク、水分等測定値の精度向上に尽力した。また、近年は、開発リーダーとして、調整の自動化機能を搭載した色彩選別機を業界で初めて製品化し、市場の高い評価を受けている。

発に携わるとともに、中国の合併会社にも出向するなど、国内外問わず、社業の発展に多大な貢献をした。



(株)山本製作所 佐藤律雄さんとご家族

[管理・営業部門]



小林 秀明

(株)本田技術研究所
汎用R&Dセンター
第2開発室LGA設計
ブロック研究員
(勤続年数 31.1年)

【功績の概要】

昭和60年入社後、約30年間、耕うん機の開発に携わり、同軸同時正逆転ロータリ、フロントロータリ等の技術開発を始めとした14モデルの新機種開発を行い、農業機械の発展に大きく貢献した。



大塚 浩史

アグリテクノ/矢崎(株)
営業部営業企画担当
マネージャー
(勤続年数 19.5年)

【功績の概要】

入社以来、営業部門で自社製品・OEM製品の拡販に貢献。また、広報・製品企画にも携わり、メーカー窓口として活躍するとともに、大阪事務所の運営・部下指導育成にも尽力し、社業発展に大きな牽引力を発揮している功績は多大なものがある。



宮本 順一

(株)丸山製作所
ポンプ事業部
技術部長
(勤続年数 30.1年)

【功績の概要】

昭和61年に入社、長年にわたり研究・開発部門に従事、主力製品である背負動力噴霧器をはじめ、動力散布機、ブロワー、ミスト機などの製品の開

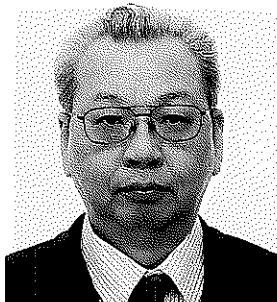


遠藤 万吏英

金子農機(株)
総務部次長
(勤続年数 33.5年)

【功績の概要】

昭和57年入社以来、総務部に所属し、どんな業務にも前向きに取り組み、勤務状況は良好で職務に忠実で信頼できるものである。また、性格も温厚で明るく積極的に行動し、社内外からの信頼も厚く、他の社員の模範となっている。



神野 雄一

株神崎高級工機製作所

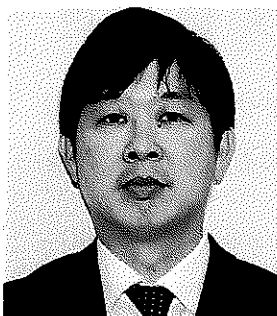
営業部

原価管理グループ課長

(勤続年数 39.1年)

【功績の概要】

入社時よりトラクタ及びコンバインの原価計算の業務に従事し、お客様に満足していただける製品価格を達成するため、トランスミッションの原価低減を行い、現在のトラクタ価格体系の基礎を構築するなど、社業発展に多大な功績をした。



南 ワトソン

キャニコム

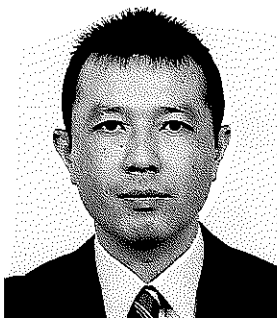
海外営業部

アジアグループグループ長

(勤続年数 6.1年)

【功績の概要】

平成22年入社以来、アジア担当として積極的な営業活動を継続することで、アジア地区売上増加や新規取引先開拓に大きな実績を残し、当社の海外営業展開に大いに貢献した。



及川 大門

小橋工業(株)

営業管理部

物流管理課課長

(勤続年数 17.3年)

【功績の概要】

入社以来、営業部門に在籍し、業務係として営業所運営を円滑に行うため、営業所長以下セールスのサポートに最適な仕組みを作り上げた。現在は、物流管理課長として慣習にとられない大改革に取り組み、経費削減や円滑な出荷体制の構築、営業事務職部門への指導などに大きな成果を上げている。



川村 宗城

小橋工業(株)

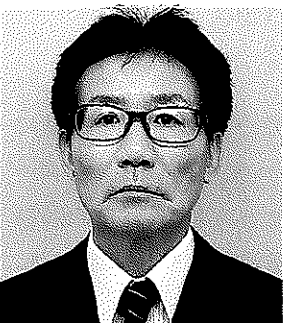
営業部

第一エリアエリア長

(勤続年数 20.0年)

【功績の概要】

入社以来、営業部門に在籍し、持ち前の鋭い視点からの分析力と行動力によってトラクタ作業機の拡販に大きく貢献。その後、東北営業所所長を経て、現在は営業部第一エリア長として、妥協を許さない姿勢と細やかな指導によって「会社方針の徹底」に大きく貢献し、営業部門改革を先頭に立って担う存在になっている。



武田 洋一

株ササキコーポレーション

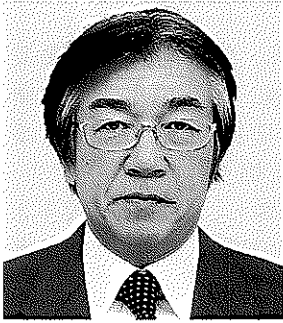
農機営業部

長岡営業所所長

(勤続年数 37.1年)

【功績の概要】

昭和54年入社後、製造部に所属後、技術部、総務部を経て営業部へ配属。営業部では、青森営業所、仙台営業所で営業課長を、平成13年には営業企画部長、業務部長を歴任した後、北東北営業所、関東営業所勤務を経て現在は長岡営業所長として農機販売及び販売促進に多大な貢献をした。



谷 周 知

三陽機器(株)
大阪・岡山営業所
所長
(勤続年数 33.1年)

【功績の概要】

昭和58年入社以来、熊本営業所、本社営業部、大阪・岡山営業所に勤務。平成14年より現職の営業所所長の重責を担っている。また、平成10年に発売開始したトラクタ後部装着のブーム式草刈機の開発では、お客様の声を技術部に伝え、商品開発に大いに貢献した。お客様目線から、商品に対する改良要望、販売企画を提案し、実績の向上に貢献したその成果は大きい。

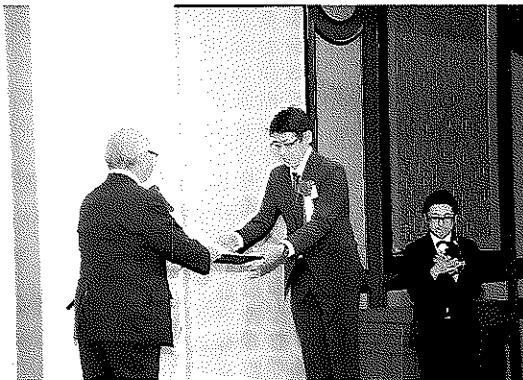


斎藤 達 哉

静岡製機(株)
営業本部特機推進部
営業課主幹
(勤続年数 36.1年)

【功績の概要】

入社以来、営業部門に所属し、4営業所を歴任、中四国、中部営業所では所長として采配をふるい、この間、米麦用乾燥機、低温貯蔵庫などの販売、サービス活動で農作業の環境改善に貢献した。また、現在は、特機部門で施設製品の販売、後輩の育成指導に手腕を発揮している。



有光工業(株) 藤内喜保さん



木口 豊 生

(株)太陽
品質保証部長
(勤続年数 27.10年)

【功績の概要】

入社以来、28年にわたり品質管理係を始め、物流・生産管理課長を経て現在は品質保証部長として業務に精励し、ISO9001の認証取得・維持運営において中心的な役割を果たし、社業の発展に大きく貢献した。

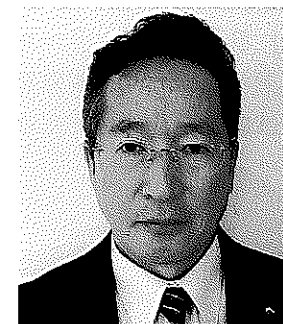


山本 一 人

(株)太陽
物流部部长
(勤続年数 38.1年)

【功績の概要】

入社以来、38年にわたり営業活動を積極的に展開し、農業環境が厳しい中で業績向上に大きく貢献した。また、昨年からは物流部門に在籍して豊富な営業経験を活かした顧客満足の上に取り組み、新たな物流体制を構築中であり、一層の社業発展への貢献が期待される。



高橋 茂

(株)タカキタ
営業本部本州営業部
関東営業所所長(課長)
(勤続年数 39.1年)

【功績の概要】

昭和52年入社以来、営業の第一線を歩み、平成26年関東営業所所長に就任し現在に至る。この間、たえず営業の第一線にあって社業の発展に寄与するとともに、部下の指導育成にも大きく貢献した。



和田 康司

ハスクバーナ・ゼノア(株)

国内営業本部
大阪支店担当課長
(勤続年数 21.3年)

【功績の概要】

平成7年、エレクトラックス・ジャパン(株)に入社、平成17年同社事業分割を経て、ハスクバーナ・ゼノア(株)直轄営業グループ担当課長として、主要代理店及びOEMセールスの基盤構築に寄与。平成26年国内営業本部大阪支店担当課長に就任し、平成27年には同支店過去最高の売上達成に尽力。主力商品である刈払機、チェーンソー及びアクセサリ商品の前年比二桁増の売上に貢献した。

【功績の概要】

昭和46年ホンダSF中部入社、2R・4R・汎用製品のサービスに従事。その後、昭和61年本田技研工業(株)中部汎用営業所を皮切りに関西、北陸、埼玉と勤務し、北海道と九州を除く日本全国を担当、現場の営業とサービスを経験し、各地にて販売店様との絆を築き、農業機械の拡販と指導育成に努めた功績は多大なものがある。



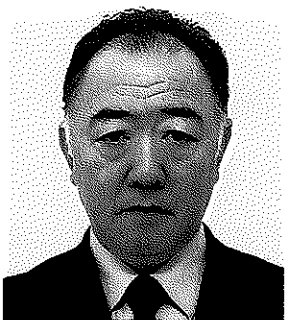
安住 一広

松山(株)

営業部
東北営業所所長
(勤続年数 24.11年)

【功績の概要】

平成3年入社以来、営業部門に所属。この間、営業の第一線にて市場開拓と営業基盤の確立に努めてきた。平成20年以降は東北営業所の所長として先頭に立ち、業績の向上に寄与してきた。何事にも熱心な姿は、社内だけではなく取引先からも厚い信頼を得ている。



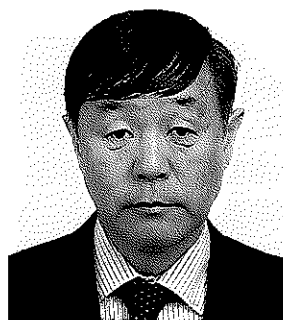
川下 雅正

本田技研工業(株)

日本本部汎用パワープロ
ダクツ営業部事業企画BL
シニアエキスパート
(勤続年数 43.1年)

【功績の概要】

昭和48年本田技研工業(株)浜松製作所入社、その後、北海道にて安全運転普及本部を経由し二輪の営業、昭和60年関西から汎用の営業に携わり、中国、関西、関東にて勤務。汎用本部でシリーズ担当後、東北と関西にて営業所長を歴任。直資販社の社長も務め農業機械の拡販と普及に努めた功績は多大なものがある。



石井 敏

松山(株)

営業部
営業技術課課長
(勤続年数 33.1年)

【功績の概要】

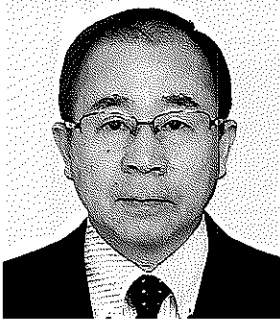
昭和58年入社以来、営業部門に所属。この間、営業の第一線にて市場開拓と営業基盤の確立に努めてきた。平成20年以降は九州営業所の所長として業績の向上に寄与してきた。また、平成23年からは営業技術課長として顧客からの提案等に対して真摯に対応し、取引先からも厚い信頼を得ている。



佐久間 実幸

本田技研工業(株)

日本本部汎用パワープロ
ダクツ営業部販売課主任
(勤続年数 45.2年)



田中正文

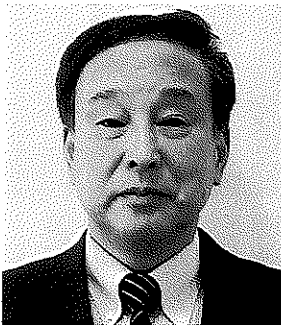
(株)やまびこ
やまびこ産業機械(株)
管理部(出向)
(勤続年数 42.1年)

【功績の概要】

昭和49年入社以来、営業の第一線に立ち、日本各地の販売会社にて製品の拡販に貢献。平成25年からは本社の営業本部専門部長として、全国にある販売店のうち、より専門的な修理が可能な300以上の販売店を「やまびこサービスショップ」として認定。ホームページで公開し、アフターサービスの向上と製品の拡販に寄与し、多大な功績を残した。



代表謝辞(株)ササキコーポレーション武田洋一さん



藤田和幸

(株)山本製作所
東北営業所
(勤続年数 27.11年)

【功績の概要】

昭和63年入社以来、長年にわたり東北営業所に所属し、主に宮城県地区の担当として、地域密着の営業活動を行い、顧客・販売店からの信頼関係も厚く、業績向上に貢献した。近年は、担当地区のマネージャーとして部下育成に努め、社業の発展に大きく貢献した。



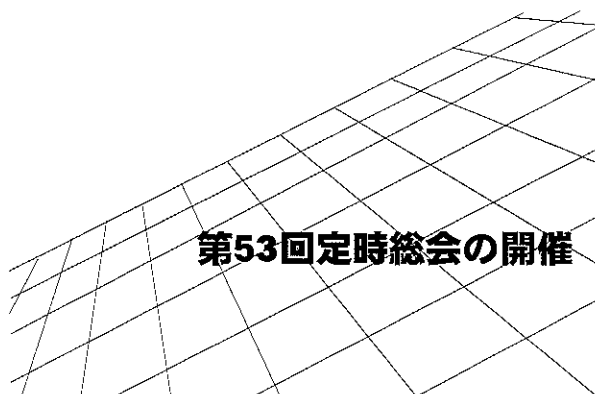
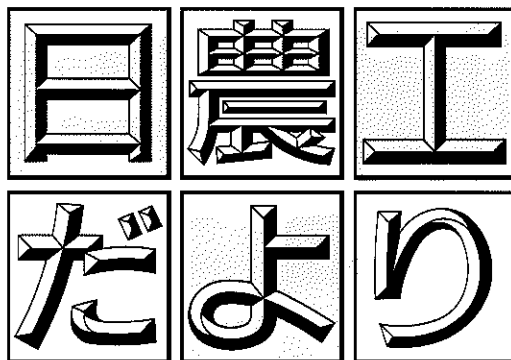
(株)やまびこ永尾社長と受賞者



受賞式会場



キャニコム包行会長、包行社長と受賞者



第53回定時総会の開催

5月30日(月)八芳園において第53回定時総会を開催いたしました。

①平成27年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について、②理事・監事の選任について、それぞれ審議し承認されました。

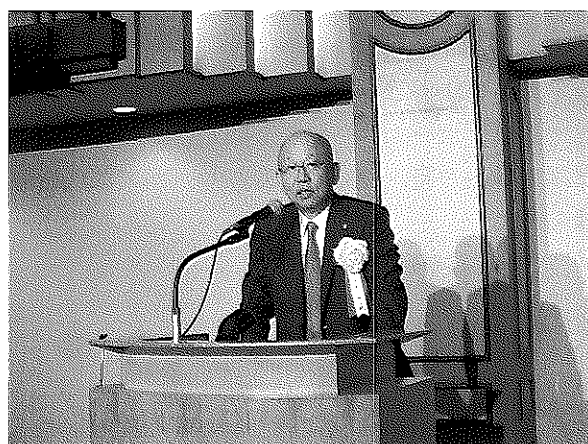
なお、総会後に開催した第139回理事会において、会長・副会長の選定が行なわれ、下記のとおり新役員が就任いたしました。

- 会 長 木下榮一郎(井関農機株式会社) 【新】
- 副会長 木股昌俊(株式会社クボタ)
- 〃 鈴木岳人(ヤンマー株式会社) 【新】
- 〃 末松正之(三菱マヒンドラ農機(株)) 【新】
- 〃 内山治男(株式会社丸山製作所)
- 〃 藤森秀一(カンリウ工業株式会社)
- 〃 包行 均(キャニコム) 【新】
- 監 事 金子常雄(金子農機株式会社) 【新】
- 〃 渡邊安郎(ハスクバーナ・ゼノア(株)) 【新】

専務理事 田村敏彦((一社)日本農業機械工業会)

常務理事 森下 光()

総会、理事会につづき、第55回従業員功労表彰式(会員企業から推薦を受けた30名が受賞)を執り行いました。(受賞者を5～11ページに掲載)



定時総会後の懇親会で挨拶をする木下新会長

今後のスケジュール

- ◇ 平成28年10月21日(金)14:00
地方大会(臨時総会)
／松山全日空ホテル(愛媛県松山市)
- ◇ 平成29年1月10日(火)12:00～13:30
新年賀詞交歓会
／八芳園(東京都港区白金台)

《事務局人事情報》

平成28年4月1日付 業務部長 松山 徹(昇格)

がんばってます!!

松山スキー部



松山株式会社
<http://www.niplo.co.jp>

スキー部 川上裕雅

弊社は、長野県の上田市に本社をおく農業機械メーカーです。1902年の創業以来、トラクタと連携して田を耕す犁（すき）、代掻き機、ロータリーなどの機械や、自走式の野菜収穫機といった製品の開発・製造・販売を行っています。

周りを山に囲まれた自然豊かな立地にあり、国蝶であるオオムラサキの保護など、環境保全活動にも力を入れている企業です。



松山株本社

また、福利厚生の一環として、野球部やフットサル部など、さまざまな部活動が社内にあります。今回は、その中から私の所属するスキー部の活動を紹介します。

スキー部では、年に数回スキー場での合同練習を行っています。今年は暖冬で雪も少なかったため2回の開催となってしまいましたが、毎年11月頃から5月頃まで、菅平高原や東部湯の丸などの近場のスキー場に出かけたり、新潟県のほうまで遠征したりと、バジテストや各種大会に向けた練習を行っています。年齢層も20代～40代と幅広く、さまざまな部署の社員が所属しています。



普段の仕事のなかでは、なかなか会う機会の少ない人たちとの交流をもてるのも部活動の魅力だと思います。社員の部活動を推奨してくれ、様々な面で応援をしてくれている会社に感謝し、今後も活動がんばっていききたいと思います。

松山株式会社
〒386-0497 長野県上田市塩川5155
代表取締役社長 松山信久
TEL0268-42-7500/FAX0268-42-7520

Q: 高血圧の人は睡眠時無呼吸の可能性が？

〈相談者／55歳男性〉

朝の血圧が高い「早朝高血圧」で、いびきがひどく、肥満気味で、昼間の眠気があります。睡眠時無呼吸は放置すると危ないと聞きますが、検査や治療に時間がかかるように思いますが、現在、多忙につき、受診していません。

高血圧の人は睡眠時無呼吸の可能性があると聞きました。詳しく教えてください。

A: 睡眠時無呼吸の患者の約半数が高血圧を合併。心疾患、脳血管障害などのリスクを高めるので早めに受診を

睡眠は、発達した大脳をもつ人間にとって、健康を支えるための重要な役割を担っています。睡眠の良否が脳の情報処理能力を左右し、質のよい睡眠をとらないかぎり、昼間に十分な活動ができなくなります。

睡眠時無呼吸では、激しいいびきと無呼吸がくり返され、低酸素状態となり頻回に覚醒します。結果として睡眠は分断され、日中の過剰な眠気、集中力や活動性低下、うつ傾向、インポテンツ、夜間頻尿、高血圧そのほか多彩な症状が出ます。十分な睡眠がとれないとメタボリックシンドロームや生活習慣病の原因にもなります。

睡眠時無呼吸では、約半数の方が高血圧を合併しており、無呼吸が高血圧の独立した危険因子であることが明らかになっています。睡眠時

無呼吸のない人のリスクを1とすると、睡眠時無呼吸を合併した人では、糖尿病が1.5倍、高血圧2倍、心疾患3倍、脳血管障害4倍とリスクが増大します。また、最近の研究では、めまいや平衡障害の要因としても重要であることがわかってきました。

睡眠時無呼吸の検査は、まず自宅で呼吸運動と血液中の酸素濃度を記録する簡易検査を行います。簡易検査で、睡眠時無呼吸が疑われた場合、病院に一泊して睡眠ポリグラフ検査を受けます。施設にもよりますが、夕方に病院へ行き翌早朝に帰るので、仕事を休む必要はないでしょう。

この検査では、睡眠中の脳波、呼吸運動、筋電図、眼球運動、いびき音などを連続記録します。この検査から、無呼吸の重症度やほかの睡眠の病気(周期性四肢運動障害、ナルコレプシー、睡眠不足、不眠症など)があるか診断できます。

睡眠時無呼吸では、肥満(35%)、下あごの小さいこと(35%)、扁桃肥大(20%)、鼻詰まり(10%)に加えて、アルコール、あお向けで寝ることなどが、単独または複合して、いびきや無呼吸を引き起こします。



農業に人材を呼び込め!

NHK NEWS WEB(2016.4.5)

経済部・伊賀亮人記者の解説より・・・

私たちの食生活を支える日本の農業が岐路に立たされています。TPP=環太平洋パートナーシップ協定の合意をきっかけに、国際的な競争力を持つ産業に生まれ変わることができるのか。それとも、国際化の波に飲み込まれてしまうのか。日本の農業が抱える最も根本的な課題は、担い手の減少です。いかに多くの人材を呼び込むか。民間レベルで動き出した新たな試みについても紹介します。

●“砂”で人材を集める!?

画像は、アジア料理でよく使われるパクチー。よく見ると、根元には土ではなく、砂が敷き詰められています。



「砂で野菜を栽培できるの?」と不思議に思われるかもしれません。これは、大手商社の「双日」が設立し農業法人が導入した「高床式砂栽培」という技術です。この技術のねらいは、農業を始めるハードルを低くして、幅広い人材を呼び込むことです。

まず、1つめの特徴の“砂”。一般的な農業では、さまざまな種類の肥料を混ぜて適切な土壌を作る専門的な知識や、通気性がよくなるように耕すための一定の体力が必要です。

これに対し、「高床式砂栽培」では、川辺でとれるごく普通の砂に、マニュアルで定められた配合の液体肥料と水を染み込ませるだけで野菜を育てることができます。砂は隙間が多いため、耕す作業も必要ありません。

次に、2つめの特徴の“高床”。高さ70センチほどのプランターを使うことで、腰をかかめなくても作業ができるので、体への負担

を軽減できるというわけです。この「高床式砂栽培」が行われている千葉市の農業法人には、自動車メーカーの関連会社など農業とは関係のない職場から転職してきた人もいます。収穫作業などを行っているパート従業員の多くは農業の経験がない近所の主婦や高齢者の人たちです。



この栽培方法では、プランターが傾くと肥料や水の行き渡る場所が偏ってしまいます。このため、鉄筋の足組みには建設現場で使われる特殊な技術を活用して、プランターの水平を保っています。



そのほかの設備は、一般的な農業用ハウスと変わらず、温度や光の加減を厳密に管理する植物工場と比べて低いコストで済むといえます。今後は栽培する野菜の種類を増やして収益性を高め、将来的には全国でフランチャイズ化して、幅広い人材を呼び込みたいと考えています。

●担い手不足変化の兆しも

日本の農業全体の現状を見ますと、担い手の減少と高齢化に歯止めがかからない深刻な状態が続いています。

農林水産省が5年おきに行っている農業版の国勢調査「農林業センサス」によりますと、2015年2月1日現在で全国で農業を職業としている人は175万4000人。5年前に比べて29万8000人、率にして14.5%減っています。平均年齢も67歳と初めて67歳台に達し、65歳以上

の高齢者が全体の64.6%を占めています。厳しい状況が続いていますが、変化の兆しもあります。例えば、農林水産省が、新しく農業を始めた就農者について行なっている別の調査では、平成26年に就農した49歳以下の人は2万1000人余りでした。これは、7年ぶりの高い水準だったということで、農林水産省は、農業に関心を持つ若い世代が増えているとみています。

●広がりはじめた“マッチング事業”

では、農業に関心を寄せる若者を、いかに現場に呼び込むか。民間企業の間で、就農希望者と生産者をつなぐ“農業に特化した人材サービス”を強化する動きが広がり始めています。

このうち、千葉市にある人材サービス会社では、就農を希望する人向けに農作業の体験イベントを開いたり、人材を求める農業法人による就職説明会を運営したりしています。会社によりますと、ここ数年、農業法人などへの就職や転職を希望する人は増えていて、年間およそ800件の求人に対し、70%ほどが就職につながっているということです

【農業の担い手】

人材サービス強化の動き広がる

- ・ ネットでの求人情報提供
- ・ 人材を求める農業法人などの説明会運営
- ・ 農業関連の仕事を探す人対象、自治体の移住者支援策を紹介



農林水産業に特化した求人情報サイトを運営している会社もあります。このサイトで就職先を見つけようとしている登録者は年々増加し、およそ4万人に達しているということです。この会社では、去年12月、全国の地方自治体による移住者への支援策を紹介するサービスも始めました。農業生産者の多くは、人材の募集や採用面接の方法が分からないという悩みを抱えることが多いということで、こうした人材サービス会社を通じて、一般企業のノウハウをつかむことで、人材の確保に結びついているということです。

最近では、農産物のブランド化や輸出に取り組む農家や農業法人も増えていることから、経理や営業といった幅広い人材の需要も増えているということです。

●担い手確保で求められるのは？

それでは、「担い手不足」解消への動きをさらに広げていくために必要なことは何でしょうか？

それは、“ビジネス的な観点”、つまり、収益性にこだわる視点を農業にとり入れていくことだと思います。先ほど挙げた「農林業センサス」によると、法人や組合の形態で農業を行う組織は3万3000と、5年前に比べて6.4%増えています。企業が積極的に農業に携わろうとしている傾向がみとれます。

しかし、農地を所有できる農業所有適格法人に対する企業の出資比率を50%未満に制限するなどの規制は、よりスピード感を持って緩和していくべきだという声もあります。

TPPが発効されれば、品目によって期間は異なりますが、関税の撤廃や引き下げが行われることになり、この間が「変革」のタイムリミットとも言えます。ようやく見えはじめた変化の芽を農業の競争力強化という果実へと育てるための具体策を、迅速に徹底して実行していくことが必要だと思います。



アグリエボリューション・第5回サミット出席報告

日農工 松本 礼史

はじめに

1月21日(木)にイスタンブールで開催された「アグリエボリューション・第5回サミット」に出席しましたので、その概要を報告します。

日農工は、2014年1月からアグリエボリューションの正式メンバーとして参画していますが、サミットは今回が初めての参加です。日本からのプレゼンテーションとして、大久保 稔氏(ヤンマー(株)技監・執行役員アグリ事業本部開発統括部部長)、原田 肇氏(SATAKE USA INC President&CEO)に講演していただきました。

また、併設開場において「Agro Eurasia International Agriculture and Machinery」が1月21日(木)~24日(日)の期間で開催されました。

1. Agrievolution Summit 2016

日時：1月21日(木) 10時~17時45分

場所：Tuyap Fair Convention & Congress Center
(イスタンブール)

主催：トルコ農業機械工業会(TARKMABIR)

参加者：約150名

[プログラム]

- 10:00-11:00 オープニングセッション
祝 辞 トルコ農業副大臣
基調講演 FAOトルコ担当者
- 11:15-13:00 セッション1：世界市場への期待
アフリカ、ユーラシア、西ヨーロッパ地域の市場について
- 14:00-15:45 セッション2：農業及び技術ソリューションの世界動向
ロボティクス、トラクタ、防除機、ハーベスタの技術について
- 16:00-17:45 セッション3：成功事例紹介(世界市場戦略など)
中堅・中小企業による事例紹介



サミット会場の様子

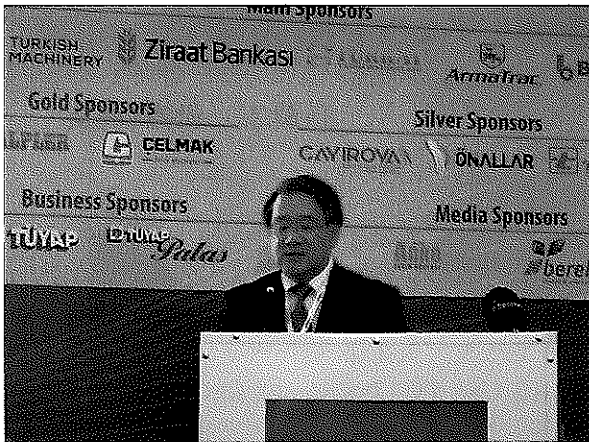
[日本の講演内容]

①大久保 稔氏(ヤンマー(株))

【演題】RT & ICT in Agriculture

はじめに、会社概要等の説明を行った後、政府が取りまとめた「ロボット新戦略」の概要説明、日本の農業機械のロボット技術(無人のトラクタ、田植機、草刈機やアシストスーツなど)の紹介、自社のトラクタ無人走行のビデオ上映、ICTを活用した取組、リモートサポートセン

ターなどについてのプレゼンが行われた。



講演する大久保氏

講演する原田氏

②原田 肇 氏 (SATAKE USA INC)

演題：Satake's Success Stories

はじめに、自社の取組（設計、製造、調達、教育など）について説明を行った後、成功事例として、精米工場（インドネシア、ホンジュラス）、製粉工場（小麦／韓国）・（トウモロコシ／メキシコ）の施設紹介、また、2015年6月にトルコ・アラパラ社と戦略的パートナーシップを締結したことなどのプレゼンが行われた。

[サミットについて]

1年半～2年毎に開催され、これまでに、ローマ（第1回、2008年）、オーランド・フロリダ（第2回、2010年）、パリ（第3回、2011年）、ニューデリー（第4回、2013年）で開催しています。

次回は2017年10月中国（青島）の予定です。

2. アグロ・ユーラシア国際農業機械展

開催2日目（1月22日）の展示会を見学しました。約50社が出展し、1階に作業機など、地下1階にトラクタが展示されていました。

10時の開場とともに展示会場に入りましたが、とても閑散としていて、2日目ながら、まだまだ準備中？といった印象を受けました。



クボタブース



BASAK社

3. おわりに



混雑する出国ターミナル内の手荷物検査場

サミットが開催されたTuyap Fair Convention & Congress Center及びホテルは、イスタンブールと言ってもアタテュルク国際空港から市街地とは反対方向に約40km移動したところでした。

1月12日に発生したイスタンブールでの自爆テロ後の訪問のため、空港など主要な場所は物々しい警備体制かと思っておりましたが、入国審査はとても簡単でしたし、車での移動中も特に検問等があるわけではなく、サミットの会場周辺も含め、自爆テロがあったことなど忘れさせる雰囲気でした。

その代わりに、アタテュルク国際空港内に入るための警備は厳しく、帰る日は出発の約2時間前には同空港に到着したのですが、出国ターミナル内に入る前にスーツケースだけでなくコート、ベルトまで取り外してX線チェックを受けなければならず、空港の入り口は長蛇の列ができていました。チェックイン手続き、出国審査、2度目の荷物チェックも、いずれも混雑していて、思った以上に時間がかかり、飛行機の搭乗は最後の方になり、ちょっとヒヤヒヤしてしまいました。

次回、イスタンブールに訪問する機会があるときは、もう少し早めに到着したいと思います。(了)

Photo Gallery ③②



岡山県 北里信子さん

タイトル: 武者返しの石垣

熊本地震で多くの方が被災されました。余震がなお続き、熊本(大分)の皆様安心して熟睡できる日が早く戻りますことを願っています。

写真は震災の1ヶ月前の旅行で撮影しました。私の大好きな男前熊本城です。

兵庫県 内田陽平さん

タイトル: レトロ

金沢で面白い看板を見つけました。
コールドパーマってどんなのかな?
祖母に聞いてみよう!

町並みやニャンコまで雰囲気があり、
お寿司がとても美味しかったです。



岩手県 斉藤まゆさん

タイトル: カラスの半身浴

早朝からホントよく喋るので、うるっさいカラスくんは嫌われ者になりがちです。けど、近くで20分たってもまだ身体を休めているカラス。なんか可愛い!(^^)カラスも精一杯生きてるんだなど。



北海道 山崎雄三さん

タイトル: 北海道新幹線

新幹線が北海道へ開通し随分と長い年月がかかりましたけれどもとても嬉しく感激しました。新幹線は日本が誇る世界一の鉄道だと、私は思います。

静岡県 原田英貴さん

タイトル: 富士山を背に

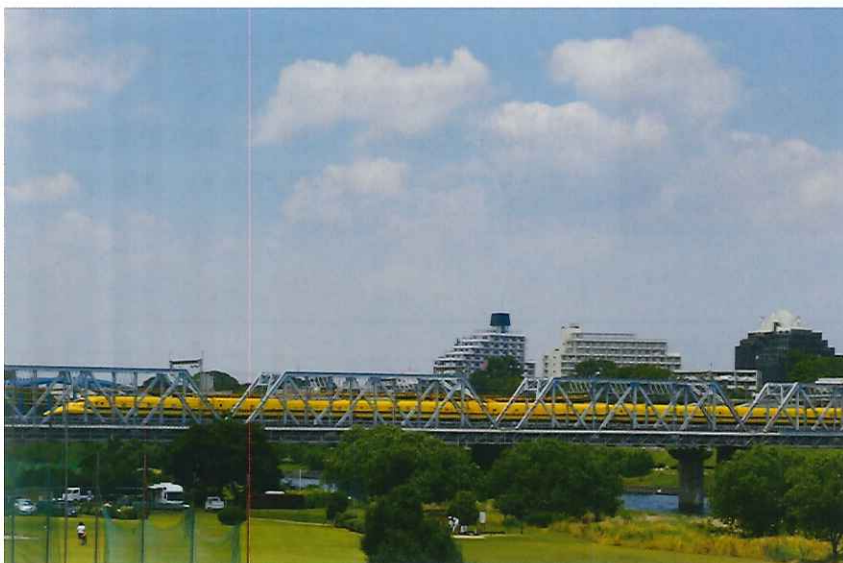
残雪の富士山を背に、爽やかな風に吹かれ鯉が泳ぐ。雄大です。さすがは世界遺産。4月末からG・Wにかけ、朝霧高原の酪農家たちが飾り付けた鯉のぼりです。ここには写ってませんが一面に芝桜が咲き、綺麗です。是非一度お出かけください。



神奈川県 沢井昭徳さん

タイトル: ドクターイエロー

多摩川を渡るDr.イエローです。ずっと見たいと思ってましたが、そんな思いは通じず、でもやっとやっと出会えました。しかも全車両を撮れました！！





大阪府 坂野隆一さん

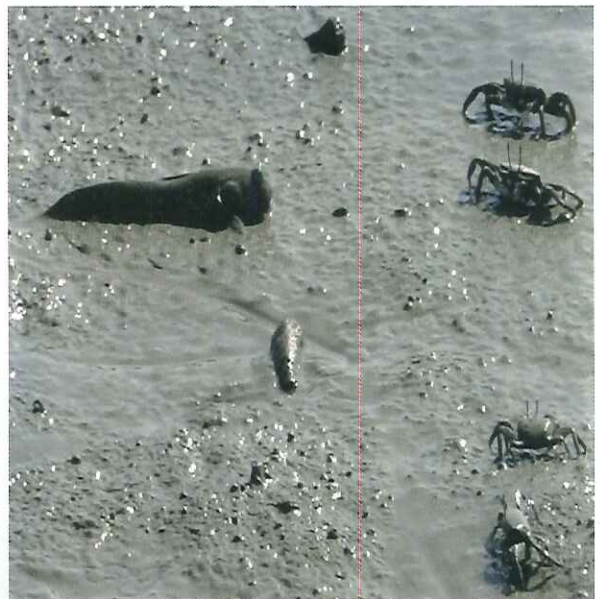
タイトル: どっしり遅い足

初めて靖国神社へ行ってきました。
「コマ犬」に屋台のコードが巻かれてま
したが、逃げないと思いますが・・・。

福岡県 永井恵美さん

タイトル: かわゆす

ムツゴロウもカニもかわいい、かわゆす
なあ。みんな有明湾の住人です。



埼玉県 片山 剛さん

タイトル: 世界トライアスロンシリーズ

横浜山下公園周辺で毎年開催されるトライア
スロン横浜大会を観戦しました。
世界的な大会のようです。どおりで精鋭達の
顔・腕・足。いい身体してます。自転車は60
㎞は出てるでしょうか？

投稿写真を募集しています

- ・ 次回秋季号の写真切りは平成28年9月30日です。ジャンルは自由です。
- ・ フィルムカメラや、デジタルカメラで撮影した写真を、必ずタイトルとコメントを添えてご応募下さい。採用された方には記念品を送らせていただきます。

応募先: 一般社団法人日本農業機械工業会 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

E-mail: sunflower@jfmma.or.jp

新社長の紹介

〈片倉機器工業株式会社〉

石垣貴広(いしがき・たかひろ)氏が3月18日付で代表取締役社長に就任されました。

石垣社長の主な経歴は、昭和62年4月片



倉工業㈱入社、平成17年10月同社総務部総務部長代理、平成21年6月同社企画部IR室長、平成25年7月同社企画部グループ事業室長、平成28年3月18日片倉機器工業㈱代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「当社は今年で創業70周年になりますが、これまでに培った有形・無形の資産を有効活用して、ニッチな分野でナンバーワンを目指してまいりたいと思います。そのためには、お客様のニーズの掘り起こしと、新技術の取り込みに注力し、新商品の開発に取り組んでいきたいと考えております。また、自社ブランドの拡大と知名度アップにも取り組んでまいります。皆様方のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。」

趣味は、テニス、映画鑑賞

座右の銘は、「努力なくして栄光なし」

埼玉県出身、血液型はA型

家族は夫人と長男、長女

(本社所在地)

〒390-1183

長野県松本市大字今井字松本道7160

片倉機器工業株式会社

TEL0263-58-4711 / FAX0263-86-2844

カタクラ 自走自脱、大豆脱粒機、一・二輪管理機、各種乗用自走野菜移植機、薬剤散布機、自走カタ、高所作業台車、電動作業台車

〈株式会社スズテック〉

鈴木直人(すずき・なおと)氏が2月26日付で代表取締役社長に就任されました。

鈴木社長の主な経歴は、平成19年3月作



新学院中等部卒業、平成22年3月栃木県立宇都宮高等学校卒業、平成27年3月宇都宮大学工学部応用化学科卒業、平成27年4月株式会社スズテック入社取締役就任、平成28年2月26日株式会社スズテック代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「弊社は昭和21年の創業以来69年に亘り、農業機械を主に開発・販売して参りました。

社是は、「堅実」「先迫」「独創」。『農作業の一助となる』との創業の精神を継承しつつ、進歩する農業、進化する農業機械を開発して参りたいと思います。

また、メイン商品である「播種機」の技術を活かしたエンドウ豆の新芽である「豆苗」の生産を行っておりますが、農機部門に次ぐ“収益の柱”にするべく力を入れて参ります。

学生時代からの趣味であるオーケストラでの演奏で経験しました、それぞれの主張と異なった個性を持ちながらも同じベクトルに向かって協調した時に、「お客様に感動を生む結果を発揮する(オーケストラのような)集団」をめざし、お客様に喜ばれるような商品のご提供をし続ける企業へと成長して参りたいと思います。」

趣味は、オーケストラでのバイオリン演奏、読書

座右の銘は、「千里の道も一歩から」

栃木県出身、血液型はA型

家族は祖母、父、弟3人

(本社所在地)

〒321-0905

栃木県宇都宮市平出工業団地44-3

株式会社スズテック

TEL028-664-1111 (代) / FAX028-662-5592

スズテック 水稻育苗用関連機器、園芸用関連機器、トラクタ用作業機及び関連機器、環境関連機器、野菜(豆苗)の生産・販売

〈八鹿鉄工株式会社〉

寺田 謙二(てらだ・けんじ)氏が4月21日付で代表取締役社長に就任されました。

寺田社長の主な経歴は、平成24年4月八鹿鉄工(株)入社、平成25年7月同社生産管理課課長、平成26年5月同社常務取締役生産本部長、平成28年4月21日八鹿鉄工株式会社代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「社長就任にあたり、この重責を考えると身の引き締まる思いであり、会社の実態を把握に努め、勇気をもって会社の経営に当たっていきたくと考えております。

当社は主として、コンバインカッターや野菜関連機器等の農業機械や除雪機等の生活関連機器の生産に携わっており、今まで培った技術を基に、新商品への取組みや新たな生産体制の確立、そして大きく変化する環境に順応していく必要があると考えております。

操業以来75年となり、今後も農業分野に貢献出来る様に取り組んで参りますので、皆様方のご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。」

趣味は、サッカー観戦

座右の銘は、「成せばなる」

兵庫県出身、血液型はO型

家族は父、母、兄

(所在地)

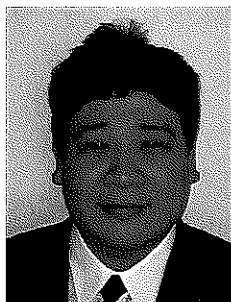
〒667-0024

兵庫県養父市八鹿町朝倉200

八鹿鉄工株式会社

TEL079-662-7111 / FAX079-662-7118

八鹿鉄工 コンバインカッター、結束機、集束装置、お茶カッター、播種機、側条施肥機、薬剤散布機、大豆機械、キャビン、湛水直播機、除雪機、野菜収穫機



〈井関農機株式会社〉

木下 榮一郎(きのした・えいいちろう)氏が3月

25日付で代表取締役

社長に就任されまし

た。木下社長の主な

経歴は、昭和52年4月

井関農機(株)入社、平成19年3月(株)井関熊本製造所

代表取締役社長、平成21年12月井関農機(株)常務

執行役員開発製造本部長、平成28年3月25日同社

代表取締役社長執行役員にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「社長就任後の最初の仕事は、『熊本地震』への対応となりました。震度7を2回受けた益城町には、当社の生産、販売拠点があり、大きな被害を受け、また、多くの社員が被災しました。しかし、社員の懸命の努力と多くの皆さんの支援により、早期の復旧ができました。『東日本大震災』の時も同じでしたが、農地が荒廃し、農家の方も甚大な被害を受けました。真の復興は熊本の基幹産業である農業の復興が成就した時だと思えます。その意味で農機メーカーの果たす役割は大きい。農業の復興にできる限りの支援をしなければならぬと思いました。今回、日農工の会長に就任させていただきますが、私共の役割は日本の農業、そして地域を支える重要な役割を担っており、微力ですが全力を尽くす所存です。」

趣味は、山歩き、釣、天体観測等ですが時間無し
座右の名は、「一人の知恵より三人よれば文殊の知恵」

熊本県出身、血液型はAB型

家族は妻、娘2人(すでに嫁いでいる)

(所在地)

〒799-2692

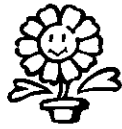
愛媛県松山市馬木町700

井関農機株式会社

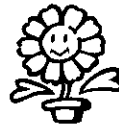
TEL089-979-6111 / FAX089-978-6440

キセキ トラクタ、コンバイン、田植機、耕うん機、バインダ、ハーベスタ、乾燥機、粃すり機、精米機、計量選別機、野菜移植機、野菜収穫機、農業用プラント類、芝刈機、その他





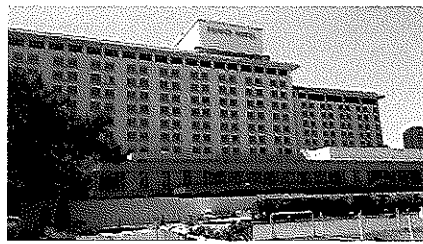
編集後記



- ▽ 東京では、東京駅周辺、虎ノ門、浜松町・田町・品川、新宿、池袋などで再開発計画が進んでいて、その経済波及効果は10兆円にもなるとの試算も出ています。2020年の東京オリンピックも見据え、今後ますますヒートアップしていきそうです。また、ホテルでもあちこちで施設改修が行われており、その影響で慢性的な客室不足になっています。東京出張でホテルがとりづらくなったり、料金が高騰したりと、苦勞されている方も多いのではないのでしょうか。
- ▽ 日農工が入居している機械振興会館の近くにある東京プリンスホテルでも改修工事が行われていて、今年の4月から1年間営業休止となっています。ここで新年賀詞交歓会や総会を開催してきた団体も多く、代替場所を探すのに苦勞したという話を聞きます。



浜松町駅前の再開発

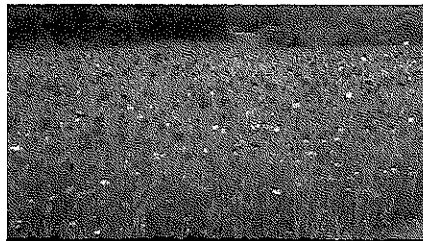


改修中の東京プリンスホテル

- ▽ 東京オリンピックはまだ4年先だというのに、良くも悪くもいろいろな方面に影響を与えています。おそらく多くの日本人にとって、日本で開催する夏のオリンピックを生で見られる最後の大会になるでしょうから、この際調子に乗って盛り上がりちゃいましょう。
- ▽ 東京から少し離れると、日々の穏やかな時間が静かに流れています。外房の海では若者がサーフィンを楽しみ、秩父の山あいではポピーが咲き乱れています。世界では物騒な事件が起こっていますが、やっぱり平和ってイイですね。



外房の海辺



秩父のポピー畑

発行人 / 田村敏彦

発行所 / 一般社団法人 日本農業機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 (機械振興会館)

TEL 03-3433-0415 / FAX 03-3433-1528

URL <http://www.jfmma.or.jp>

E-mail sunflower@jfmma.or.jp